

セルフ会計に適した自動つり銭機 「Pay Cube」をご提案します

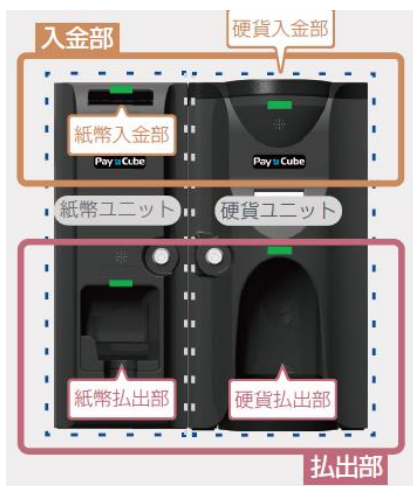


@2022 NIPPON CONLAX CO.,LTD

「Pay Cube」とは？

セルフ会計に適した**非循環型**の自動つり銭機のことです。

Pay Cubeの構造はとてもシンプル。
入金部と払出部、更に硬貨と紙幣の経路が
独立。

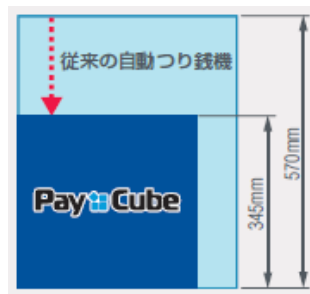
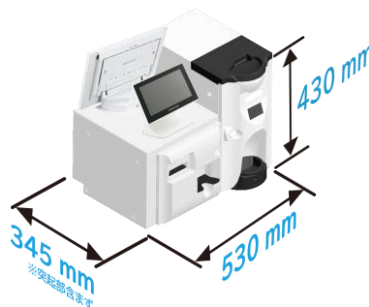


小さいスペースに設置可能

Pay Cubeの奥行きは345mm ※1。

奥行(長い通路)が必要だった従来の一般的な自動つり銭機と比較して約35%奥行が短く、通常の奥行450mmのカウンターでも設置が可能です。

※1 突起部を含まない設置底面。突起部を含んだ場合の奥行きは400mm

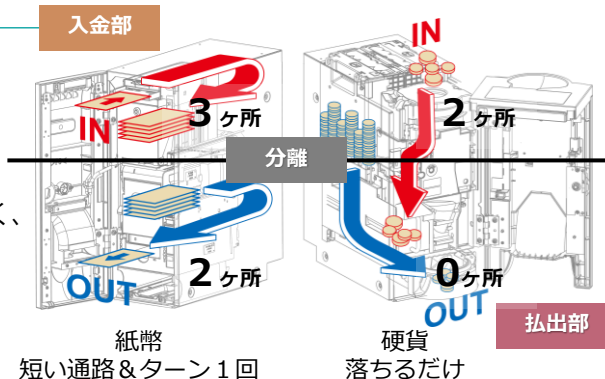


営業中の機械トラブルが起きにくい

1. 詰まりにくい

循環型のつり銭機は、構造上紙幣の移動に長い経路を必要とし、それが貨幣詰まりの一因。

一方、Pay Cubeは**非循環型**のため、それぞれの経路が短く、詰まりにくい。
現場をとめません。



2. 即時復旧が可能

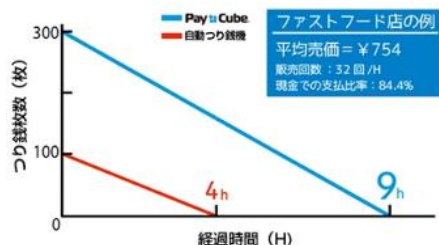
いただいた紙幣(入金部 IN)が
つまったら確認する箇所は、
3ヶ所。硬貨なら、2ヶ所。
お釣り用の紙幣(払出部 OUT)
がつまったら確認する箇所は、
2ヶ所。硬貨が詰まることはほ
ぼありません。
また、トラブル発生時は、デ
イスプレーに表示されるQRコ
ードをスマホなどで読み取るこ
とで対処方法を動画で確認でき
ます。

長時間の営業が可能

1. 補充軽減による長時間運用

循環型のつり銭機では、硬貨の払い出しが多い場合、内部容量が少ないため、つり銭機により会計業務がストップ。

一方、Pay Cubeは、大量のつり銭(硬貨 1,180枚・紙幣 500枚)を内部に用意できるため、会計業務の停止時間を最小化し、長時間の継続運用を実現。



2. 即時補充が可能

Pay Cubeは、カセット交換だけで硬貨や紙幣の補充が完了。
カセットは鍵付きなので、現金にふれる方を限定でき、セキュリティ性が向上します。



仕様

対応金種	[硬貨] (入出金) 1円、5円、10円、50円、100円、500円 [紙幣] (入金) 千円、二千元、五千元、一万円 (出金) 千円
入金貨幣 収納容量	[硬貨] 混合庫 : 1,000枚 (基準貨幣100円にて約1,200枚) [紙幣] 混合庫 : 約480枚 (官封札相当)
出金貨幣 収納容量	[硬貨] 1円、10円、100円 : 300枚、5円、50円 : 100枚、500円 : 80枚 [紙幣] 千円 : 約500枚 (束厚60mmまで)
処理速度	[硬貨] 入金 : 15枚/秒 出金 : 15枚/秒 [紙幣] 入金 : 1.3枚/秒 出金 : 2枚/秒
外形寸法 (突出部含まず)	[キュービック] W385 × D345 × H430 (mm) [L型] W530 × D345 × H430 (mm)
耐荷重	[L型 : 紙幣ユニット天板] 20kg
質量	[キュービック] 約34.2kg [L型] 約36.5kg
電源	AC 100V ±10% 50/60Hz ACアダプタ ※接地(アース)極付コンセント
対応OS	Windows 10 IOT Enterprise以降 / Android 7.1.2(64bit版)以降
保証期間	5年(Pay Cube本体のみ。Pay Cubeの部品。その他機器は除く)

導入に向いている店舗

日商平均	客単価	導入に向いている店舗
50万円以下	1,000円以上	ファーストフード、カフェ、クリニック、 ○ 専門店、個人商店等
50万円以上	1,000円以下	コンビニ、レストラン等
100万円以下	2,000円以下	百貨店、大型スーパー、 △ アパレル、 × ドラッグストア等

Pay Cubeは、日本初の硬貨選別装置を開発・飲料自販機でトップシェアを誇る日本コンラックス社の製品です



2412F

[販売代理店]

日栄インテック株式会社

バーコード情報サイト

検索

www.barcode.ne.jp

E-mail : info@barcode.ne.jp